

第2章 「親学習プログラム」の実践事例

県立学校対象のアンケート調査結果において、親学習プログラムの活用がない学校からの回答にあった「プログラムを知りたい」「短時間プログラムならできそう」に焦点を当て、研究協力委員とともに短時間プログラムの開発、協力校での実践、実施後の分析とプログラムの見直し等を行った。

この第2章では、栃木工業高等学校と栃木特別支援学校において実践した短時間プログラムの展開を中心に、活動の実際の様子なども含めて紹介する。



[栃木工業高等学校での実践]



[栃木特別支援学校での実践]

2-1 栃木工業高等学校での実践

栃木工業高等学校では、これまで講話型のPTA学年部会が通例で、保護者同士が交流を図りながら子育てについて振り返るといった新たな内容を取り入れたいと考えていた。そこで、保護者同士で話し合い、保護者として子どもにどう関わるかについて考えるきっかけになることを期待して、「親学習プログラム」を取り入れた参加型の学習会を新たに実施することにした。

実施にあたっては、総合教育センター職員と第1学年主任との数回の打合せで、時程や内容、準備物等の確認をただいで、当日の配付資料の準備や進行などはすべてファシリテーターが行った。

実施校の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数約600名で女子の割合が少なく、約8割が就職（県内が多い）という進路状況である。 ・講話型の機会がずっと続き、今回が初めての親学習プログラム実施となる。 ・ワークショップにおいても知識的なことを保護者に伝える時間を入れたいと考えている。 		
テーマ	「思春期の子どもとの向き合い方学習会 ～我が子は思春期真っ只中～」		
参加者	第1学年保護者 123名	会場	体育館
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期の子どもとの向き合い方について保護者同士で話し合い、保護者として子どもにどう関わるかについて考えるきっかけとする。 		
実施のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、保護者同士がコミュニケーションを図り、意見や情報交換等ができるようにする。 ・普段の子どもとの関わり方をふりかえり、悩みを共有することで不安を解消し、今後の子どもへの接し方を考えられるようにする。 		
事前の準備	◇3つの約束カード ◇名札シート（タックシール） ◇アンケート回収箱 ◇配付資料（レジュメ、参考資料、アンケート用紙）		

	展開	◆展開のポイント
導入 8分	◎テーマと注意事項の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・学習会のねらいや注意事項を説明 ・「3つの約束（参加・尊重・守秘）」はカードを使用 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> 注意事項を確認した後、「後出しじゃんけん」を行ったことで、緊張や場の雰囲気や和らぎました。 </div> 	◆安心して話し合いができる雰囲気がつくれるようにする。 ◆座席の近く同士でグループ分けをして時間をかけないようにする。
	1 自己紹介をする。 (1) グループ分け（座席ごと3～4人組）	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> ポイント <ul style="list-style-type: none"> ・名札シートは事前に子どもに書かせておくで保護者の手間を省ける！ ※子どもが書いた文字を見て感動する保護者もいた。 </div>
	 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> 椅子の配置を工夫したことで、グループ分けが短時間で済みました。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> ポイント <ul style="list-style-type: none"> ・説明を簡潔にすることで、話す時間の確保に！ ・少しの時間だけでもゲームを入れると雰囲気が和らぐ！ ・椅子の配置を工夫すると時間の節約に！ ※今回は前後2人で4人グループが作れるように椅子と椅子の間隔を開けて配置した。 </div>

	<p>(2) 自己紹介その1 (子どもの名前と出身中学または住まい)</p> <p>(3) 自己紹介その2 (自分が高校時代に夢中になっていたこと)</p> <p>予定していた時間では足りないほど話し合いが盛り上がりました。</p> 	<p>◆現在、高校生である子どもの気持ちを想像する準備とする。</p> <p>◆グループ内で話し合いがしやすくなる雰囲気づくりにつなげる。</p> <p>◆自己紹介その2は、1人1分程度で話してもらおう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> • まず名前程度を述べる「自己紹介その1」を入れたことで話しやすい雰囲気づくりに! ※いきなりたくさん話すより、短くテンポよく進めると話しやすくなる。 </div>
<p>W 1 12 分</p>	<p>2 レジューメをもとに、グループで子どもの気になっていることや心配なことについて自由に話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最近の子どもの様子 • 自分と子どもとの関係 • 家族と子どもとの関係 等 <p>同じ年の子を持つ保護者だからこそ分かる悩み事などがたくさん出ていました。</p> 	<p>◆子どものことについて、最近気になっていること、悩みや不安等を自由に話してもらおう。</p> <p>◆自分と子どもの関係をふりかえる機会とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全体で共有する際は、様子を観察していた進行補助がグループでの様子を伝えるといった話し手になると時間短縮に! ※ファシリテーターが各グループをまわって意見を集めるよりも楽に時間をかけずに済む。 </div>
<p>資料 3 分</p>	<p>3 資料をもとに思春期の子どもの特徴や傾向を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 資料「思春期とはこんな時期です」を活用 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 資料の全てを説明する時間はないので、大事な部分を太字で表しておく! • 説明する際に、分かりやすい事例やエピソードを入れると効果的! ※「保護者の皆さんも通ってきた道ですから…」、「思春期を過ぎた今の自分だから理解できるのでは…」といったフレーズなどぜひ! </div>	<p>◆実例の話を取り入れるなどして、高校生の悩みや不安について理解を深めさせる。</p>

<p>ふりかえり7分</p>	<p>4 ふりかえり</p> <p>(1) 今後、思春期の子どもと関わる上で心がけたいことや保護者の心構えについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人で考えた後、グループ内での話し合い <p>(2) 全体でわかちあう。</p>  <p>グループでの話し合いから気付いたことなどを基に、今後の心構えなどを考えていました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆保護者の関わり方を中心に、家族と子ども、家族間、夫婦間で心がけたいことについても考えさせる。 ◆グループでどんなことが話し合われたか発表してもらうことを、事前に伝えておく。 ◆高校生の悩みや不安を受け止めていく上で、保護者同士や保護者と教員との良好な関係づくりも大切であることにふれる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合う前に自分の考えなどを書く時間はとらない！ ※保護者同士のよい雰囲気最後まで持続させるためにも、書くことよりも、話すことに時間をとる。 ・全体でわかちあう際は、進行補助が話し手になると時間短縮に！ </div>
<p>事後</p>	<p>○アンケート用紙に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス懇談会開始前の教室移動時間を使って記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が記入する際に困らないよう用具の準備を！ ※鉛筆だけでなく、会場によってはバインダーなども必要。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆クラス懇談会へ移動するまでの時間を利用して記入してもらう。 ◆担当がアンケート回収箱を用意して、回収を行う。

【参考資料】

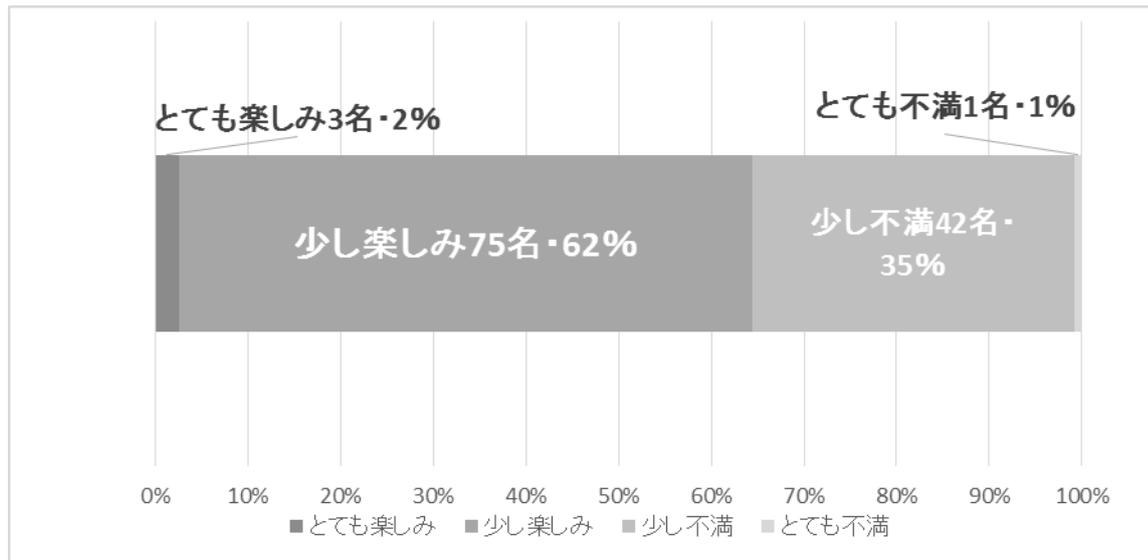
栃木工業高等学校第1学年保護者会 思春期の子どもとの向き合い方学習会アンケート集計結果

(回答者 123名)

- 1 今回のプログラム「思春期の子どもとの向き合い方学習会～我が子は思春期真っ只中～」はいかがでしたか。
※実施前後の気持ちについて、あてはまるもの（近いもの）に○を付けてください。

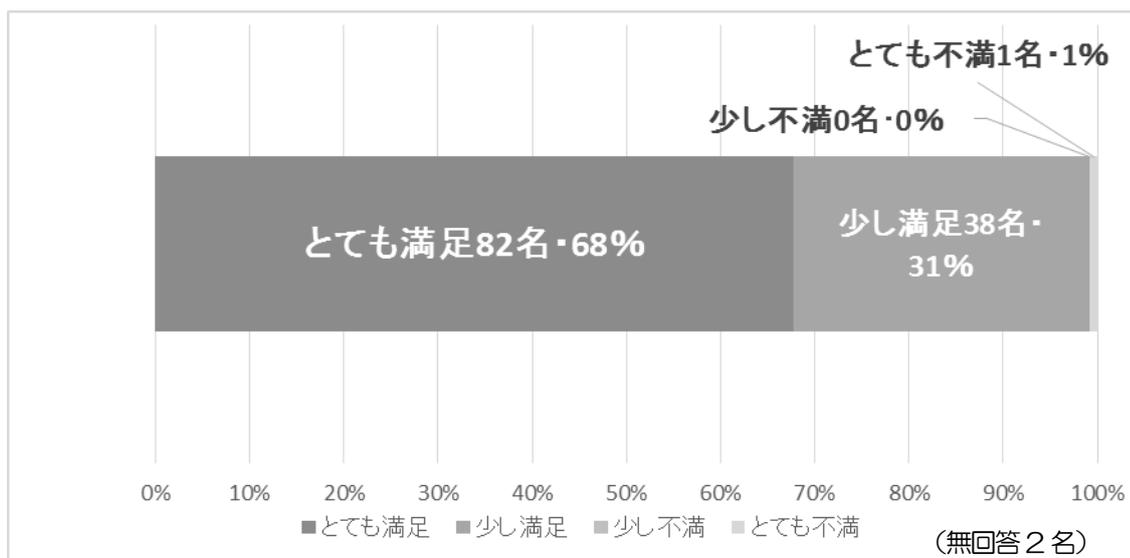
(1) 実施前の気持ち

とても楽しみ 少し楽しみ 少し不満 とても不満



(2) 実施後の気持ち

とても満足 少し満足 少し不満 とても不満



☆気持ちの変容について (回答者 123名中)

- ・「とても満足」「少し満足」に変わった(気持ちがプラスに) 92名(76.0%)
- ・「少し不満」「とても不満」に変わった(気持ちがマイナスに) 1名(0.8%)

2 今回のプログラムに参加して、「気づき」や「学び」などありましたか。 (回答者 123 名中)

※あてはまるものに○を付けてください。(複数回答可)

ア 思春期の子どもを特性を理解することができた。	44名 (35.8%)
イ 自分の子育てを振り返る機会となった。	63名 (51.2%)
ウ 他の人も同じような悩みや不安を持っていることが分かり安心した。	93名 (75.6%)
エ 新たなつながり(知り合い)をつくることができた。	60名 (48.8%)
オ これから生かしたい、実践したいと思えることがあった。	26名 (21.1%)
カ 今後のPTA活動や学校行事に参加しやすくなった。	15名 (12.2%)
キ その他(具体的にお聞かせください)	4名 (3.3%)

- ・声掛けて大切なことだと感じた。話しかけても無視されるから放っておこうと思っていたが、放っておくと見捨てられた気がして「すねる」という矛盾もあると知り、放っておくことはだめだと思った。帰ったら何でもいいので声掛けしたい。
- ・他の方といろいろな話ができてよい時間だった。
- ・下の子(中1)のことで悩んでいた時期だったので、とても勉強になった。
- ・やはり思春期は、その子それぞれなのだと思った。

3 その他、今回のプログラムについて、御意見・御感想を自由にお書きください。

- 最初、知らない人と話すことが不安だった。座ってみて共通の状況や悩み、笑いがあり大変面白くためになった。
- 人による考え方の違いを聞いて楽しかった。
- 他の方の意見を聞いて安心できた。
- グループディスカッションはとてもよいと思う。
- 他のお母さんの意見も聞いてよかった。
- 始まる前は少し不安だったが、皆同じ悩みを持っていたり、違ったりしていることもあって、いろいろ知ることができてよかった。
- 自分の思春期を思い出した。
- 3~4人で話が分かりやすくてよかった。
- クラスのお母さんと話せるよい機会だった。
- クラスの保護者の方と話ができて、とても楽しく参加することができよい機会だった。
- 同じ中学校卒の保護者さんたちしか知らなくて、他の中学校卒の保護者さんと話せてよかった。
- 同じ年の子を持つお母さんたちと話して、いろいろ聞いてとても参考になった。

- とても楽しかった。
- 保護者の方といろいろ話せて、いいつながりができ、本当によかった。
- 保護者のコミュニケーションにもなる。
- このような機会がないと話をするチャンスもないので、今回はとてもありがたいプログラムだった。
- 話を聞くだけでなく、参加型だったので参加しやすかった。今後、自分がどうしたいかを考える機会になった。
- 同じ年頃の子を持つ保護者の気持ちを話すことができてよかった。
- 参考になった。同じ年の子どもたちの考えや態度の違い。
- 同じ思春期の子を持つ保護者との交流ができてよかった。
- 他のお子様に行っていることを参考にして、自分の子どもとの関わりをもっと上手にしていこうと思った。
- 中学生と高校生の向き合い方の違いを教えてほしい。(より具体的に)
- 今の子どもは年じゃない、もっと早い時期に聞きたかった。
- 時間が短すぎる。年1回程度、実施してもらいたい。
- もう少し時間がほしかった。

2-2 栃木特別支援学校での実践

栃木特別支援学校では、これまで講話中心のPTA研修会を行い話を聞くだけで終わっていたが、参加者が講話内容をより深く理解できるような工夫ができないか考えていた。そこで、講話後に参加者同士で気付いたことや考えたことなどを話し合い、今後の子育てのヒントを得るきっかけになることを期待して、「親学習プログラム」を取り入れた参加型による振り返りを組み合わせて実施した。

実施にあたっては、総合教育センター職員とPTA担当との数回の打合せで、時程や内容、準備物等の確認をただけで、当日の配付資料の準備や進行などはすべてファシリテーターが行った。

実施校の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県で初めての知的障害養護学校として昭和49年に開校し、遠距離で毎日の通学が困難な児童生徒のために、寄宿舎を設置している。また、医療的ケアを必要とする児童生徒には、学校看護師が対応している。平成22年度より肢体不自由の子どもが身近な地域で専門的な教育が受けられるように肢体不自由教育部門が開設され、県内で初めての知肢併置校となる。 ・児童生徒数276名で、近隣校（小中高）との交流機会が設けられている。 ・保護者対象の研修会では、講話型の機会が続き、今回が初めての親学習プログラム実施となる。 		
テーマ	「思春期の子どもとの関わり方 ～レッツ・親トーーーーク～」		
参加者	保護者（小学部～高等部）23名	会場	音楽室
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期の子どもとの向き合い方について保護者同士で話し合い、保護者として子どもにどう関わるかについて考えるきっかけとする。 		
実施のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、保護者同士がコミュニケーションを図り、意見や情報交換等ができるようにする。 ・講話の中で心に残ったことなどを基に振り返り、今後の子どもへの接し方を考えるきっかけづくりになるようにする。 		
事前の準備	◇3つの約束カード ◇名札シート（タックシール） ◇配付資料（レジュメ、アンケート用紙）		
	展 開		◆展開のポイント
導入 10分	<p>◎テーマと注意事項の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習会のねらいや注意事項を説明 ・「3つの約束（参加・尊重・守秘）」はカードを使用 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p>テンポよい説明で明るくスタートし、「後出しじゃんけん」でさらに雰囲気が和みました。</p> </div> 		<ul style="list-style-type: none"> ◆受付時に名札シートを配付し、子どもの名前と学部を記入してもらう。 ◆安心して話し合いができる雰囲気がつくれるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始前に参加者の様子を観察して、つながり具合を探っておく！ ※打ち解けている様子だと感じたら、アイスブレイクに時間をかけないやり方に変更する。 ・見やすいグループ表示や優しい音の出るベルなどは参加者の安心感につながる！ </div>
	<p>1 自己紹介をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 自己紹介その1（子どもの名前と住まい等） (2) 自己紹介その2（最近食べておいしかった物） 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明を簡潔にすることで、話す時間の確保に！ ・1人の話す時間を考えると、1グループ3～4人がよい！ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「御協力ください」や「終わったら目合図を送ってください」といった言葉かけなどによって、参加者をファシリテーターの進め方に引き込むことができる！ </div>

	 <p>レジュメに書かれてある仕掛けによって、グループ分けがスムーズにできました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己紹介その1によってグループ内で話合いがしやすくなる雰囲気づくりにつなげる。 ◆自己紹介その2は、1人1分程度で話してもらおう。 <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> •同じアルファベットでグループを作ることになったり、マーカーの印が描かれている人から話すことになったりという仕掛けは、グループ分けや話す順番を決める時間を短くすることに有効！
<p>W 1 12 分</p>	<p>2 講話を聞いて感じたことを自由に話し合う。</p> <p>(1) 講話内容のポイントを再確認する。 (2) 心に残ったことや響いたことを話す。</p>  <p>時間を決めて交代させたことで、1人1人の話す時間がきちんと確保できました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆講話内容のポイントである「思春期の子どもを育てるために大切な10のこと」を再確認させ、次の話す活動がスムーズにいくようにする。 ◆自分と子どもの関係をふりかえる機会とする。 <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> •講話内容のポイントが分かる資料があると話合いがより深まる！ ※今回は、講話で使用したもの（スライド資料）がそのまま使用できた。
<p>ふ り か え り 3 分</p>	<p>3 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> •プログラム全体をとおして気付いたことなどを自分の中でまとめる。  <p>子どもへのメッセージを書いてもよいことを伝えると、ほとんどの参加者が記入していました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料を参考に、実例の話を取り入れるなどして説明し、思春期の子どもに関する理解を深めさせる。 <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> •ファシリテーターの実体験などを交えた話を入れると、参加者の最後のまとめに有効！ ※今回は、ファシリテーターが特別支援学校の元保護者であることから、説得力のある話となった。 •各自、静かに振り返る時間があると、気付きや想いを自分の中でまとめるのに効果的！
<p>事 後</p>	<p>○アンケート用紙に記入する。</p> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> •アンケートを実施する場合は、実施校と項目内容等を十分確認しないと、正確な結果を把握することができない！ ※記入する側は、講話から振り返りまでを一つのまとめりとして捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆記入したアンケート用紙は、後日、学校に提出していただく。

【参考資料】

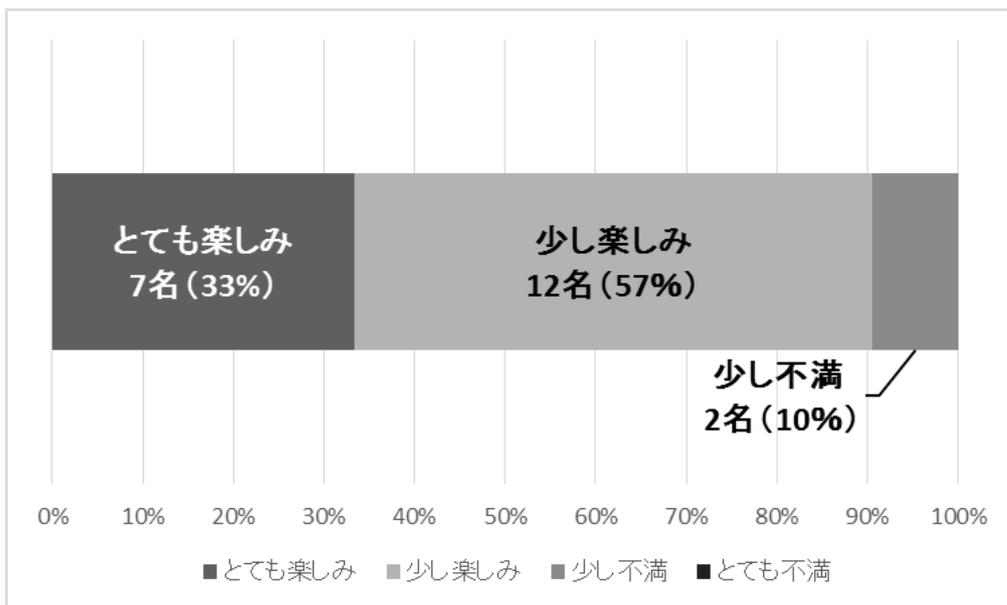
栃木特別支援学校 PTA 研修会 親学習プログラムによる振り返りアンケート集計結果

(回答者21名)

1 今回のプログラム「思春期の子どもとの関わり方～レッツ・親トーク～」はいかがでしたか。
※実施前後の気持ちについて、あてはまるもの（近いもの）に○を付けてください。

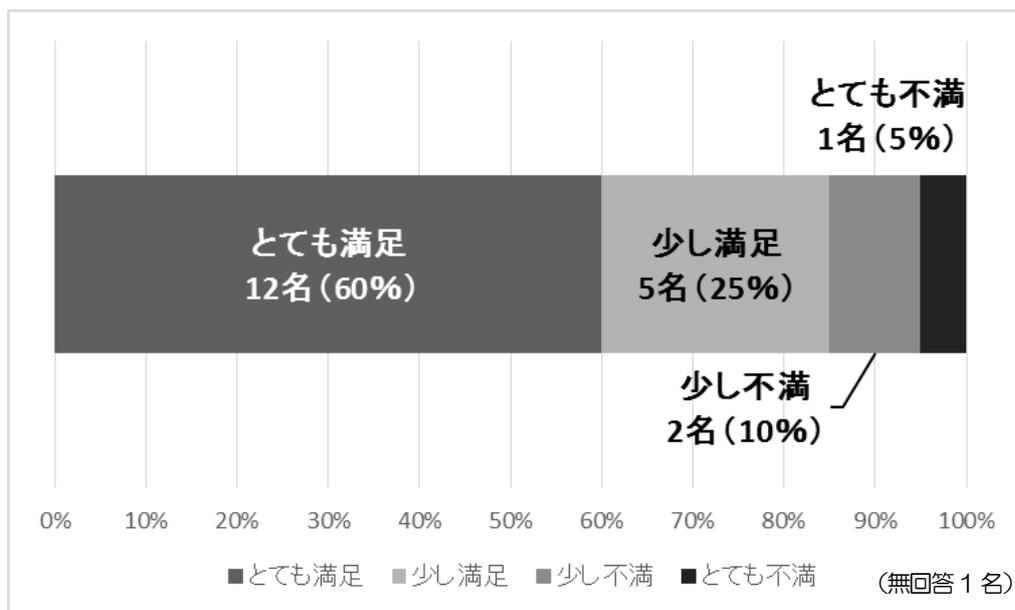
(1) 実施前の気持ち

とても楽しみ 少し楽しみ 少し不満 とても不満



(2) 実施後の気持ち

とても満足 少し満足 少し不満 とても不満



☆気持ちの変容について (回答者21名中)

- ・「とても満足」「少し満足」に変わった(気持ちがプラスに) 8名(40.0%)
- ・「少し不満」「とても不満」に変わった(気持ちがマイナスに) 3名(15.0%)

2 今回のプログラムに参加して、「気付き」や「学び」などありましたか。(回答者 21 名中)

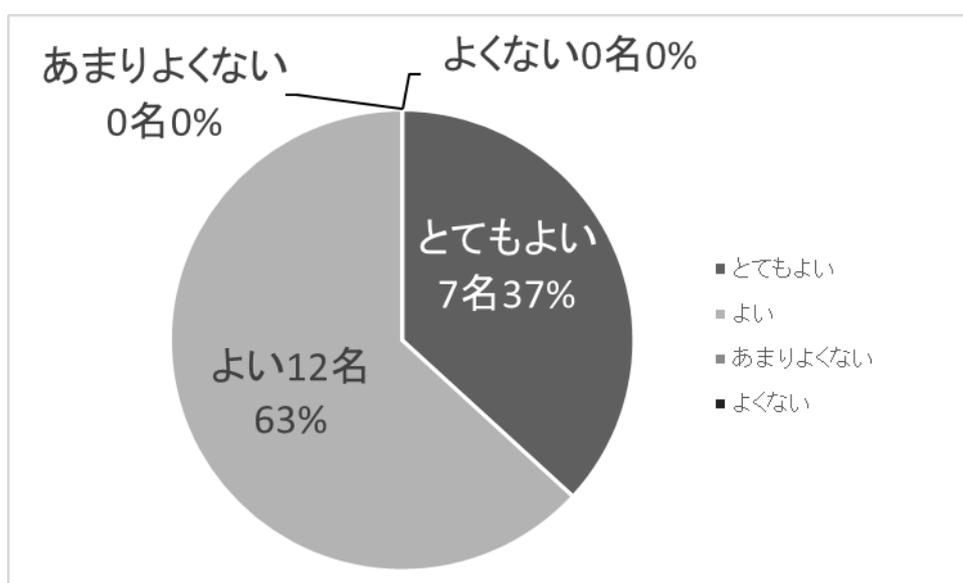
※あてはまるものに○を付けてください。(複数回答可)

- | | |
|-----------------------------------|------------|
| ア 自分の子育てを振り返る機会となった。 | 18名(85.7%) |
| イ 他の人も同じような悩みや不安を持っていることが分かり安心した。 | 15名(71.4%) |
| ウ 新たなつながり(知り合い)をつくることができた。 | 5名(13.8%) |
| エ これから生かしたい、実践したいと思えることがあった。 | 11名(52.4%) |
| オ 今後のPTA活動や学校行事に参加しやすくなった。 | 3名(14.3%) |
| カ その他(具体的にお聞かせください) | 1名(4.8%) |

臨床心理士の先生の実際の現場の話が聞けるのでは！と期待していたが、ありきたりの本など、他の講座で聞く話と一緒に少し残念だった。特別支援の親に寄り添った話が聞きたかった。

3 講演後に、親学習プログラムによる振り返りを実施することについてどう思いますか？

とてもよい よい あまりよくない よくない



4 その他、今回のプログラムについて、御意見・御感想を自由にお書きください。

- 何をやるのかよく分からず参加したが、とても楽しい時間を過ごすことができた。同じ悩みを持つ方がいるということで、とても心強く、これからもつながっていきたいと思った。
- 他の方との話合いなどによって、自分が考えていた不安や疑問など、これからどう対処したらいいのか、気付かされることが多くて、とても勉強&参考になった。
- とても楽しい時間を過ごせた。先生の笑顔がすてきだった。
- 親としての自分を振り返る貴重な経験ができた。
- 障害のある思春期について考えていたので、今回の学習会に参加できてよかった。
- 他の方も同じような悩みを持っていることが分かり、自分の子どもより大きなお子さんを持つお母さんにも話を聞いてみたいと思った。
- 短い時間ではあったが、元気をいただくことができた。
- 人の話を聞いてよかった。